

新西大學生報

第 百 八 十 一 號

昭 和 十 五 年 七 月



關 西 大 學 學 報 局 發 行

オトマアル・シユパン原著 關西大學教授 赤羽豊治郎邦譯



個人主義經濟學と全體主義經濟學

內容
 一、はしがき
 二、個人主義經濟學の批評
 三、全體主義經濟學の概要
 四、回顧

四六判 並製
 定價 五拾錢
 送料 六錢

◆ 最新刊 ◆

著者は獨逸經濟學界に特異の地位を占むる一人であつて、氏の唱導せる全體主義の經濟理論はその社會理論ともにかの地に於ては學徒の共有財産となつてゐる。この成果をもつて著者はこれまでの個人主義經濟學を論難攻撃したため、遂に世人をして著者の學說全體の評價を誤らしめるに至つた。現在著者ほど否定せられ若くは肯定せられるものは少くまた氏を無視し得ない事情にある。本書は著者が一九二七年伯林シャーロットンベルヒ高等工業學校に於てなした講演の筆記で有るが、著者の經濟理論の概要を説述して遺憾がない。

東亞新秩序建設と歐洲戰亂は今や世界を一つの大きな新秩序たらしめんとする時に當り著者の經濟理論の演ずる役割の大なるはこゝに説くまでもあるまい。

氏の經濟理論の特質を識る上に敢て本書の一讀を奨む。

ゾムバルト原著
 宇治伊之助邦譯

國民經濟學と社會學

貳拾五錢
 送料六錢

株式會社

大 同 書 院

東京駿河臺中央大學前
 振替東京一八二一八番
 電話神田二二二番

大阪區北區
 大田區
 梅田區
 田中區
 新道區
 番番番番番番
 三五五五五五
 一六七五
 三二五
 北區電話

目次

時局と夏季休暇……………安藤 光(一)

切符制經濟論……………古屋美貞(三)

ポンドの自由相場……………安田信一(五)

學内報……………(七)

夏期行事日程—夏期語學講習會—
支那事變三周年記念式—勤勞奉仕
作業—興亞學生勤勞奉國隊

校友……………(八)

校友會支部新設—校友會旗制定—
富山支部創立總會—大連支部—新
京支部—大阪市役所水道部同窓會
—神戸市役所關大クラブ—市千會
—五線會—會員消息

學生彙報……………(一三)

關西學生新聞聯盟—法理研究會—
語學部—千里山二商會—射擊部—
山岳部—フエンシング部—馬術部
—第十四回文藝祭

校友會費拂込者氏名……………(一六)



時局と夏季休暇

法文學部長 安藤 光
教授

今次事變の進展と世界情勢の變革とにともなつて、わが國は亞細亞を指導し大陸を經營すべき決定的立場に置かれた。そのために政治、經濟、外交、軍事などあらゆる方面にわたつて改新が叫ばれ、今やまさに一大轉換期に臨んでゐる。教育の方面においては、從來の文化受容的従つて歐米依存的觀念を斷ち、新に東亞の盟主としての國民的信念の涵養を基調とすることが要望されることに、文化傳達中心の教育に代つて、大陸經營の實踐に當り得る頑強な身體と意志を持つた人間の養成が要望されてゐる。かゝる時代の要求に應じて、やがて教育上の諸制度は改善されてゆくであらうが、大學、専門學校における長期の夏季休暇のごときも、またこの意味において、これを活用するため

立場において、確乎たる教育上の目的に基き一段の工夫を廻らすべきであらう。いづれにしても派遣されるべき學生は、單なる勞働奉仕と漠然たる大陸認識とをもつて満足すべきではない。それぞれあらゆる角度から研究的態度をもつて、大陸經營の理論と實際の何もかをも體得して來るところがなければならぬ。

に何等か制度としての方策が講ぜられねばならぬと思ふ。

夏季休暇の利用方法として、今日廣く集團勤勞作業なるものが行はれてゐることは周知のごとくである。しかしそれが殊に上級の學校において、果して所期の効果を收めてゐるかは頗る疑はしい。夏季、眞に心身を鍛鍊し、大國民の氣魄と情操とを養はんとするにはその方法と實行必ずしも容易ではないが、山か海かに近き大自然の地に、鍛鍊の道場たるべき宿舍を設け、周到な計畫と嚴格な規律のもとに、相當期間の協同生活を通じて、體育的且つ智育的演練を積むがときは先づ一の適宜な方法であらう。この種の企ては、既に相當多數の學校において實行されてゐるさうである。かゝる施設の早急な整備について、特にわが大學當局の考慮を煩したい。もつとも制度や設備がその實績を擧げるか否かは、これを運用または利用する者の覺悟如何にあるのだから、夏季休暇の充分な活用は、根本的には學生自身の生活の反省と自覺とに俟たねばならない。

昨年夏の夏、全國の大學、高等専門學校の學生生徒をもつて結成され、大陸に派遣された興亞青年勤勞報國隊は、今年もまた華々しく派遣されんとしてゐる。時局下、有意義な企圖であるはいふまでもない。たゞ聞くところによれば、その計畫は滿洲國開拓司によつて爲される由であるから、仕事の内容、行程などについて、教育的要求がどこまで容れられてゐるかは疑問である。文部當局はわが國文教の府として、その自主的

切符制 經濟 論

經濟學博士 古屋 美 貞

一、切符制の前提條件

日本に於ても近頃マッチや砂糖の切符制が實施され始めた。おひおひ綿の特免品やゴム靴や、それから米や木炭も切符制になるであらう。

しかし何んでもかでも、何時でも何所でも切符制になりうるものではない。

切符制になるためには先づ第一に、戦争、震災、饑饉、大不況等により物資に大缺乏をきたし、生産や輸入だけでは到底賄ひきれない時、即ちどうしても消費に向つて根本的に差額を加へ、且つ最底量の消費は之を確保せねば國民生活の全體の不安を除去し得ない時、おこるものである。

第二に、自由市場にまかしておいてはモノが購買力の強い所に偏在し、物價が騰貴し、ために生産力が阻害され、輸出力が減退し、延いては國民經濟一般に悪影響を及ぼす時、一時的辦法として實施されるものである。

尤もソ聯に於ては、何時でも常に切符制が布かれてゐるかも知れない。しかしそれは右の如き社會的條件をみたしてゐるからであつて、自由市場構造國にとつては一時的辦法も、ソ聯にとつては永續化されてゐるといふにすぎぬ。

第三に、これは實施條件にもならぬものであるが、い

かに切符制の必要に迫られるとも、その國民に切符制に協力する組織と熱意とがなければ駄目である。換言すれば國民の協力なしには實施されるものではない。

次に、切符制になる商品的條件について言へば、前記第一及び第二の條件から結果される生活必需品と原材料とに分けられ、

更に前者については、(1)どうしてもなければならぬものでその運搬、貯藏等が經濟的に容易のものでなければならぬ。例へば鮮魚の如きものは一般的切符制にはなりえない。(2)生命維持の日用品であつてその規格がはつきりしてゐるもの(3)消費統計の存在するもの、

後者については(1)國家的に重要産業の原材料であり、その配給がなければ中小工業は停止のやむなきに立ち至るやも計られないもの、(2)生産的消費統計の存在するもの。

猶兩者共通の條件としては、(1)その生産、配給、消費があまり複雑でないもの、従つてその統制が容易なものであること、(2)家庭用と商賣用とが商品的にか配給機構にかハッキリしてゐるものなどである。

最後に實施條件については、(1)前記の組織と熱意、即ち民間の産業組合組織、商業組合組織、隣保組織、學校組合組織等々と協力精神、連帯精神、國民精

神等々が必要である。ドイツに於て切符制度が成功するのは、彼等の法制なり、官僚が優れてゐるからであるといふよりも彼等の組織力と精神力とが優れてゐるからであるといふべきであらう。(2)成る可く廣い範圍に於て一齊に行はれ、商品の割當配給が個人の立場から見ても公平に行はれるのではなく國家の立場からみて公平に行はれること、(3)成る可く手續を簡單にし、切符も六ヶ月乃至一年位の綴りのものが給付し得られること、(4)商品自體についても三四ヶ月のストックが確保出来、例へば交通上の不慮の災害に會ふても直ちに國民生活の不安を感ぜしめないだけの餘裕をもちうること乃至はそれだけ餘力をもちうる程度に配給して消費を抑へ、他方では生産又は輸入を確保すること。

凡そこれらの諸條件が與へられなければ、切符制が布かれるものではない。また假令布かれたとしても成功するものではない。

二、切符制の目的とその機構

いふまでもなく切符制は、かなり強化された統制經濟の一の型である。その目的とするところは、物資缺乏による國民生活の不安に對し、生産配給消費の一貫的統制によつて生活の安定を確保することにある。だからその機構も自由の價格機構にまかしておかず、一定の公定價格を維持し、その價格にてモノが國民各自の手に入るやう切符の組織によつて配給し、その配給が永續しうるやう生産と消費とを同時に統制する制度である。従つて勝手モノを勝手に消費し濫費し退蔵せんとするものにとつては都合の悪い制度であり、儲

主義にのみ終始する商人にとつては好ましからざる制度である。だが假令一升の米でも互に融通しあふて一人でも多くの人が一日も長く食ひ延ばし、共同の困難を共通に分擔し克服せんとする人々にとつては全體的に見て最も効果ある經濟制度であると言はねばならぬ。よく人は切符制を共產主義制であるといふが、それは短見である。第一に生産も消費も私有制を廢止しておらぬこと、第二に切符的統制をノーマルの状態として見ておらぬこと、第三に統制又は計畫經濟の原理が唯物史觀に基いておらないこと等を以て見てもわかるであらう。

切符制においては、生産に對し從來の組織とあまり大變化をおこさしめない。成る可く非常時の必需品生産に集中せしめ、商品規格を出来るだけ統一し、生産獎勵の方法によつて生産能力を擴充せしめる。輸入に對しては、外貨のゆるす限り又生活逼迫に應じて出来るだけ多量の輸入を確保する。配給に對しては政府のもつ地方及市町村の行政組織自治組織を動員し、之に専ら切符の配給の統制などを管掌させ、他方産組、商組、商工會議所等の經濟團體をして商品配給、生産及び輸入等を管掌させ切符と商品との此の二つの組み合せその共同歩調、相互融通等がよく達せられる如く組織化され、更に官民の提携、協力が組織上自然と結果される如く組織づけられることが、切符制の最も大事な點である。

三、切符制の種類

切符制には、その目的から分類すれば、(一)主として生産を統制するべく原材料を切符制にするものと(二)主として配給を統制するべく配給一切を切符制にするものと、(三)主として生活必需品の消費を統制するべく(イ)食料品切符制、(ロ)繊維品切符制、(ハ)家庭燃料切符制、(ニ)其他の學童用品、勞働者用品の切符制等に分けられる。

また統制範圍について分類すれば(一)地方的又は都市的切符制、(二)全國的切符制とに分けられ、また統制機關から分類すれば、(一)自治的切符制、(二)官治的切符制、(三)官民合議的切符制とに分けられ、之を統制強化の順に言へば(一)(二)(三)の順序で進行するものであらう。

猶經濟體制別に分類すれば等しく統制經濟ではあつても、(一)全體主義國の切符制、(二)共產主義國の切符制、(三)民主主義國の切符制とに分けられ、おの／＼その特質を異にするものである。

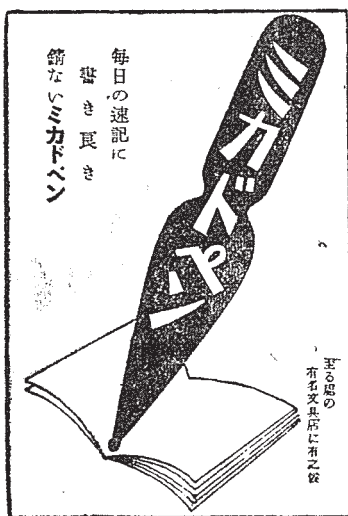
なほ(一)戰時の切符制、(二)大不況時の切符制、(三)飢饉時の切符制等にも分けられ、それらは切符制に至つた必須條件を異にするからそれぞれまたその特質を異にするのである。

一の切符制が或る國に於て成功したからとて、必ずしも之を他國に移して成功するとは限らぬ。それぞれその成立條件を異にするからである。しかし概して最も多く切符制が實施され、且つ成功してゐるものは、戰時における生活必需品の切符制、わけでも食料品の切符制である。蓋しその必要が何よりも最も痛切に感ぜられてゐるからであらう。

四、切符制の特質

切符制の特質は、前途の各種類によつて多少異なる。例へば原材料品切符制の一特質は、その多くが生産者團體の自治統制に成るものであり、一般消費者への影響は食料品切符制における如く痛切には感ぜられないのであるが、食料品切符制に於てはその多くが官治的統制に成るものであり、従つてその統制度が生産配給消費にまで廣く且つ嚴重であり、一般消費者への影響は直接であり痛切であることがその一特質である。またドイツ切符制にはナチの特質があり、日本切符制には「日本的」性格があるのである。しかしいま茲ではさうした一々の特質については姑く措き、それら切符制共通の特質について云へば、次の如きものが指摘されうる。

第一、切符制は個々の價格統制生産統制などと異なり、生産配給消費にわたる綜合統一的統制であること。



切符制では單に一定價格で賣買さればよい、又は生産量が確保されればよい、といふだけに止まらない。價格が維持されてもモノが賣借や買溜によつて偏在したり生産量又は供給量が確保されてもモノが退蔵されたり賣借みされてゐては一般國民生活の立場より見れば依然として物資が缺乏してゐるのであり一般の手には容易は這入らない限り生活不安は依然として除かないのである。ところが切符制によればモノが實質的消費者の手に入るまで統制が及ぶのである。否もつと深く、日常消費の分量にまで及ぶのである。而もそれが形式的には賣買機構を通すが實質的には各家庭の又は各企業の生存安定といふところまで目標が立てられ押し進められるのである。即ちその賣買量が資本主義的の購買力によつては増減されず、國家的に見た必要量によつて制限され且つ確保されるのである。

第二、價格統制、生産統制又は單なる配給統制によつては、統制がまた充分強化され得ない、従つて、そこにはまた闇取引、闇相場等が存在する。然るに切符制になると、切符の被交付者による切符の數だけの賣買以外は一切ゆるされないのであるから闇取引闇相場は撲滅し得られる。少なくとも一番不正取引が少なくなると言へる。

第三、前記第一及第二の特質により國民は誰でも苦難を共に味ふことが出来る。従つて共同負擔連帶責任、全體的考慮、國家的安定なぞいふことが生活の實踐を通して具體的に味へる。従つてそれだけの國の經濟力を強化し得られる。然るに其他の統制では仲々そ

こまでは行き得ない。
 第四、以上は長所であるが短所も亦ないではない。

池田典碩

(大正十四年櫻都法科出身)

擊壤真狀朔風暖 掃滅蕃戎大溝寛
 遺艦瀛陰旭光照 出師嶺南公道宣
 東征大陸先住歡 西越高原古人迎
 使節到歐相星宗 祭政治定建設更
 華寶發洲藻芳進 乾坤統歸皇化洽
 昭和庚辰天長節 拜賀奉證

陵威赫々大八洲 恩惠霑々六大陸
 鼓腹擊壤蒼生安 合學禮拜神佛儒
 慶學森々大八洲 塾校凜々六大陸
 百萬康樂研鑽深 十億清季純赤誠
 文化燦々大八洲 厚生潤々六大陸
 經濟裕豊榮禮完 企畫浩精樂舞優
 舉國降臨六千載 暗黒索孫將演貢
 九三世紀黎明臻 靜思恭詠池田傲

即ち切符制に於ては生産配給消費に互つて廣く且つ深く統制するが故に、その計畫性のどこかに齟齬をきた

し易い。或は消費の季節的變動による量的計算を誤つたり、或は郡部別の偏差を誤つたり、或は家庭用と商業用の量的區分が結果に於て不公平であつたり、此の種のがいがいろ／＼あることであらう。けれどもそれは、若しききに實施條件中に述べた切符制に對する國民の熱意と熱意とが旺盛であるならば、切符制の經驗を増すに従つて漸次矯正されうるものである。

然らば如何にして組織と熱意の強化は可能であらうか。それは消極的には國民をして如何に非常時であり如何に物資に備んでゐるか、而してこの方法によれば完全に救ひ得られるといふことを知らしむべきであらう。官僚にはまた正直に國民の眞の姿を知らしむべきであらう。積極的には、その國の國是に基きその國の世界觀を徹底させ、之を國民に滲透さすことによつて國民の組織化をはかりその國の國民精神を培ふより外ないであらう。(一九四〇・六一〇) (關西大學學生新聞第十九號より轉載)

高段田書門



二十段家書

大坂市藤野堂筋筋筋
 電話四七三〇

のドンポ 場相由自

大 學 院 學 生
安 田 信 一

伊大勳參戰、花の都パリ一陥落、フランス降伏等、斯かる聯合軍の不利を象徴し、最近ポンドは下落に次ぐ下落を続け、一時三弗十八、九仙をさへ示した。ポンドは何處まで下落する、又英政府は如何なる對策を講ずるか、世界經濟界は多大の注目を拂つてゐる。

然して我國も亦ポンドの運命に對しては次の二つの見地から關心を有せざるを得ない。即ち(1)英國は昨夏第二次大戰勃發直後より爲替統制を實施してゐる。然るにその實を結ばずポンドが下落を続けるとすればその原因を追及する事は同じく爲替統制を實施してゐる我國にとつて一の課題であり得よう。(2)我國民經濟の海外貿易依存度は比較的大である。然してポンドブロック諸國との貿易關係はその最も重要なものゝ一半を形成してゐる。故にポンドの下落、英政府の對策がこの貿易關係に重大な影響を及ぼす虞ありとすれば我國經濟界にとつて一重要事である。

右の如くポンドの下落は我國としては單にこれを他

國貨幣の對外價值下落としてのみ眺める事は出来ない。幸ひ Paul Einzig が Economic Journal December 1939 に於て The Unofficial Market in Sterling のテーゼの下にポンドの下落に付いて論ぜし故これを中心とし右論文以後の諸事情を併せ考察してこの小論を記したのである。

もとより最近に於ける英國爲替管理の強化は自由市場の存在餘地を狭隘とせしが、尙ほその存在は一定の意味を有し、例へば我國の對英爲替相場が對米相場とニューヨークの自由相場によりて決定せられてゐる。故にこれに付いて論ずる事は必ずしも無用な事ではないであらう。

★

英政府は第二次大戰勃發直後の昨年九月五日、爲替の安定化を企て買相場對米四・〇六弗、賣相場四・〇二弗の公定相場を制定した。其後同相場は九月十四日に四・〇四弗——四・〇二弗、本年一月八日に四・三五弗——四・〇二五弗と値額が縮少せられてゐる。然して政府は公定買相場にてはその量に制限なく弗爲替の購入即ちポンドの賣却を行ひ、以てポンドのより以上の騰貴を防ぐと同時に、公定賣相場にては弗爲替の賣却、即ちポンドの購入を行ひ、ポンドのより以下の低落を妨げんとした。然し乍ら後者の場合には前者と異なり一定目的を有する者のみに限ぎつたが故に、弗爲替を正當の方法にては入手し得ざる人々を生ずるに至り、斯かる人々によりてニューヨークを中心とし、歐洲の中立諸國市場に於て多量のポンドに關し自由取引が行はれた。然して茲にポンドの下落とは右の如き

自由取引に際して成立する所の相場即ち自由相場に於ける低落を謂ふのである。

ニューヨーク其他の市場に於て成立する自由相場は前述の公定相場が存するにも拘はらず大體に於て右相場を下廻り、去る三月末では三弗九十仙臺を示してゐた以後同月に於ける英國の爲替管理強化を契機として獨軍の相次ぐ電撃作戰により一路下落への道を辿つたのである。斯く自由相場が公定相場以下を示した原因如何。

これに付いては自由市場に於ける需給各々の側を検討する事を必要とするが、その前に英國爲替統制の状態に付いて考察するを便とする。

英國が昨年九月實施せし爲替統制の主要は次の如くであつた。

- (1) 次の種類の爲替取引は自由である。
 - A 英本國より英自治領及殖民地へ
 - B 外人の英貨勅定から英人勅定へ
 - C 外人の英貨勅定から他の外人の英貨勅定へ
- (2) 次の種類の取引は公認外國爲替取扱業者にのみ自由である。
 - A 戦前の輸入品、又は戦前の契約に基づく輸入品及び輸入を許可せられた財に對する支拂
 - B 英貨諸國からの輸入に對する英貨信用の許容
 - C 船貨及其類似の支拂
 - D 二十五ポンドまでの旅行費用
- (3) (1)(2)以外の取引は凡べて豫め英蘭銀行の許可を要す。然し乍ら左の種類の取引は原則として許可されない。
 - A 英國居住者の資本輸出

B 外國居住者の資本回収

C 非商業的種類の先物爲替取引

D 第三國貿易への金融便宜の許容

★

右の爲替統制に對しては幾多の脱法行爲が行はれてゐた。例へば英政府は一面に於て外人の資本引上げに對しては不許可の方針を堅持してゐるが、他面外人の英貨勘定を他の外人のそれに移轉する事に付いては放任してゐる。従つて資本を回収せんとする外人はこれを自由市場に於て輸入代金、運賃及保険料、英國の海外投資に對する利子及配當金等への支拂のためポンドを必要とする他の外人に賣却する。この場合には英國より輸出せる代金に對して英國より回収せられたポンドを以て支拂はれる事となり、輸出は英國の外貨獲得上何等審視しないのである。

凡そ一財の價格は需要供給の關係によりて定まる。ポンドの自由相場に付いてもこの事は妥當する。従つて自由市場に於ける需要供給各々の側を眺むるに次の如し。

供給側の主なる源泉をなすは、(1)前述せる外人のロンドンに於て保有せる資本の引上、(2)ポンドブロック諸國へ輸出せる外人のポンド受取代金の賣却の兩者である。これに對する需要はポンドブロックよりの輸入代金、保険料、運賃等への支拂である。

然して斯くの如き自由市場の存在は英國の外貨獲得上不利である。蓋しこの市場の存在により英國よりの輸出代金が英國より回収せられしポンドを以て行はるゝ事前述べし如くである。この不利益を除くがため英

政府は去る三日爲替統制を強化するに至つた。その要旨次の如し。

(1) 英帝國內よりの輸出商品の内、皮革類、錫、ウイスキー、ゴム、麻類、ジュート製品の六品に付いてはベルガ貨、ギルダ貨、スイスフラン、アメリカドル又は公定相場により購入したるポンドによる支拂にのみ輸出を許可せし事。

(2) 右六品の仕向地を南北米、白耳義、和蘭並びに右兩國の殖民地、スイスに限定する事を命ぜし事

★

右の結果英政府は右六品の輸出代金としての外貨を確保し得る事となつたのである。然し乍らこれによりて自由市場に於て購入せる自由ポンドを以てしては右六品を購入し得ざるため自由市場に於けるポンド需要の減少、その低落を來たした。以後獨の相次ぐ電撃戰による聯合軍の不利を象徴するかの如きポンドの急落に對し、英國政府はポンドの公定相場維持と自由市場に於けるポンド取引商減少のため次の如く爲替統制を再び強化した。その主なるもの次の如し。

一、ポンド及フラン領域外居住者の保有英證券の賣却に對しては當分の間許可を與へない。

一、米及びスイス向の輸出代金の支拂は全品目にわたり昨年九月三日以降承認取扱者より入手したるポンドたるか、または米弗乃至スイスフランたるを要す。

一、ポンド領域外の他の商品に對しても特別勘定支拂協定を取極め前項目と同様の効果を得べき方策をとりポンド決済を公認取扱者を通じての公定レ

ートによらしむるやうにする。(大阪朝日・六月八日夕刊)

★

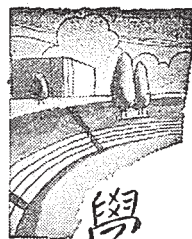
最後にポンド下落及英政府の爲替統制強化の我國に對する主たる影響は次の二つに分ちて考へられるであらう。

(1) 戦前我爲替銀行が英國に於て保有せるポンド資金は大部分ドルに轉換せられしものゝ如くであるが尙ほ殘餘が存するとすればポンドの下落はドルへの轉換に際しその受取高を減少する。又爲替統制の強化は最悪の場合にはポンド資金を封鎖せられる虞がある。外貨獲得の貴重なるべき今日、注視を要する事項である。

(2) 我國は元來第三國との貿易關係に於ては全體的にはポンドブロック諸國に對しては出超であり、ドルブロックに對しては入超の状態にある。故に戦前に於てはポンドの受取超過高をドルに轉換し以て貿易代金の決済を行つてゐた。ポンドの下落はこの操作に際し不利益を生ずる、否爲替統制の強化はこの操作自体を不可能にさへする虞れがある。然してこの事は貿易依存度の比較的大なる我國國民經濟にとつて重視を要す。

ポンド問題は勿論以上を以て盡きるものではないが一應の考察をなし得た事と思ふ。故にポンドの動きを靜づかに眺めつゝこの小論を終らう。

× × ×



學内報

夏期行事日程

學部	授業終了	授業開始	試験
豫科	七月十日	九月六日	
專門部一部	六月廿日	九月十日	自七月一日 至同 九日
專門部二部	七月九日	九月十日	自九月六日 至同 三日
	七月九日	九月十日	自同 六日 至同 廿日

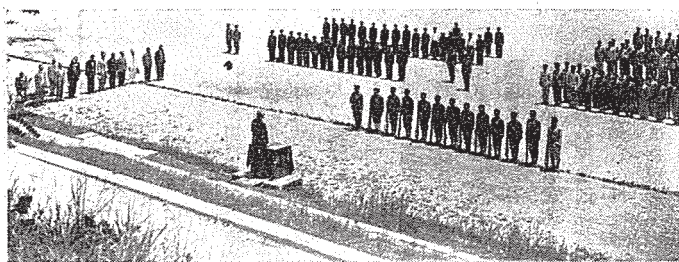
夏期語學講習會

第十八回夏期語學講習會は、例年の通り左記の如く開催する事に決定した。

會期	自七月十五日(午後六時ヨリ八時マデ)
至	八月七日
場所	天六學舎
科目及講師	
英語	教授 村上 喜貞氏
同	教授 水谷 揆一氏
同	教授 片岡甚太郎氏
支那語	講師 奥平 定世氏
同	講師 有馬健之助氏

支那事變三周年記念式

七月七日は支那事變三周年に當るを以て、午前八時半より學部及豫科は千里山學舎校庭に於て、專門部は



(上) 興亞學生勤勞奉國隊千里山校庭に於ける壯行會

(下) 支那事變三周年記念式(專門部第一部)

天六學舎校庭に於て記念式を舉行、一昨年支那事變一周年に際し賜りたる勅語、本年紀元二千六百年紀元節に賜りたる詔書の奉讀あり、學長並に專門部長より、御聖旨を奉體して時局に處する學徒の覺悟につき訓話ありて嚴肅裡に閉會した。

勤勞奉仕作業

本年度勤勞奉仕作業專門部第一部は去る六月十三、四の兩日淀川新公園の草刈作業をなし翌十五日は榎原神宮並に神武天皇御陵に參拜、豫科は第一期授業終了の七月十、十一の兩日千里山學舎校庭の清掃作業をなした。

尙學部は來る九月十三、四の兩日千里山學舎校庭の清掃作業を行ふ豫定である。

興亞學生勤勞奉國隊

昨年夏滿洲北支に於て、炎天下の勤勞作業を通じて興亞新建設の眞髓を把握し多大の成果を納めたが、本年はその第二回興亞學生勤勞奉國隊を北支蒙疆方面に派遣されることとなり、本學より教練教師橋口丹後氏外學部十名豫科二名專門部一部三名參加し、その壯行會學部及豫科は七月四日正午千里山學舎校庭に於て、專門部一部は七月九日正午より天六學舎講堂に於て舉行した。

然して一行は七月十二日より十八日迄習志野に於て内地訓練を受け、七月二十日神戸出帆のばいかる丸に乗船二十四日塘沽上陸、各指定地區に於て勤勞作用並

校 友

校友會支部新設

去る六月二十五日新に富山支部が設立された。

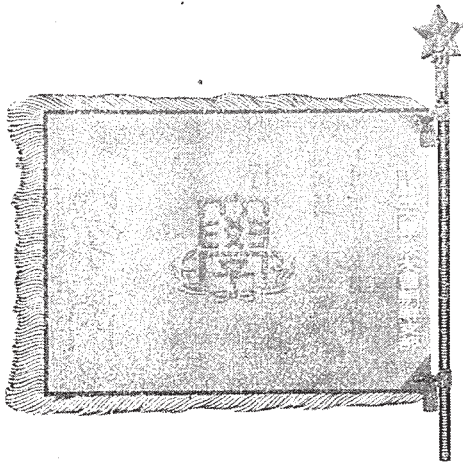
支 部 長 矢野 兼三

副支部長 磯野 充賀 中島 正文

支部事務所 富山市新總曲輪、大毎富山支局内

校友會旗制定

校友會旗の制定は各地支部より要望されてゐるを以て、去る六月十七日校友會幹事會、並に校友會常議員會に於て左の圖案の通り決定して。大きは曲尺巾二尺二寸、長三尺三寸、地色は群青紫、大學の衣裳文字は金糸の刺繡、支部名は白抜、モール及竿頭は金色。尙竿頭は本學の前身關西法律學校當時の校章を型ど



つたものである。

富山支部創立總會

最も懐しい青年時代を育んでくれた母校の校門に惜別した吾々同窓の富山縣下在住者が十六名に達し、殊に大阪が生んだ最初のそしてまた校友知事として唯だ一人の矢野兼三氏を擁しながら校友會支部が設立されておないのは甚だ寂寥の感があるとして、かねて同窓間に設立準備中のところいよゝ機熟し佳き歳を迎へて六月廿五日富山市内川船「千歳」でいとも盛大なる發開式を舉げた。當日はわざゝ大阪本部から神屋敷民藏氏を、また石川支部から中西與七氏が來富され矢野氏以下十二名出席のもとに、まづ宮本氏が開會挨拶を述べ次いで會則役員を左の如く決定したのち、神屋敷氏が懐かしい母校の近況と、もに挨拶を述べられ、ば中西氏また祝意を表され、神戸校友會長、校友會大阪支部、全川邊支部よりの祝電披露あつて、それより宴移り諸氏ともに若き日の感激を再現して初夏の夕を大いに語りて、俳人としても有名な矢野氏が窓邊より遙かに立山連峰を眺め、あるひは神通川の清流に耳をかたむくるあり、最後に母校の校歌を合唱し萬歳を三唱して散會した。

當日の出席者

矢野 兼三 宮本 五郎 福島政次郎 河合 省三
 安田 倫藏 中島 正文 栗山 基一 磯野 充賀
 若林政治郎 大江 貞二 米田 實 廣岡 忠良

に見學を終へ八月二十八日神戸歸着の豫定である。
 本學よりの参加者は

教練教師 橋口 丹後

法文學部

鈴木 謙二 山口 正夫 山田 孝治

竹下 文雄 上羽 正七

經商學部

矢部 一三 田中喜久藏 尾崎 林藏

河村 國芳 嶋田 惠弘

豫科

白井 雅勝 宮崎 芳文

専門部一部

岡本 修三 鳥羽 良雄 石村 巖

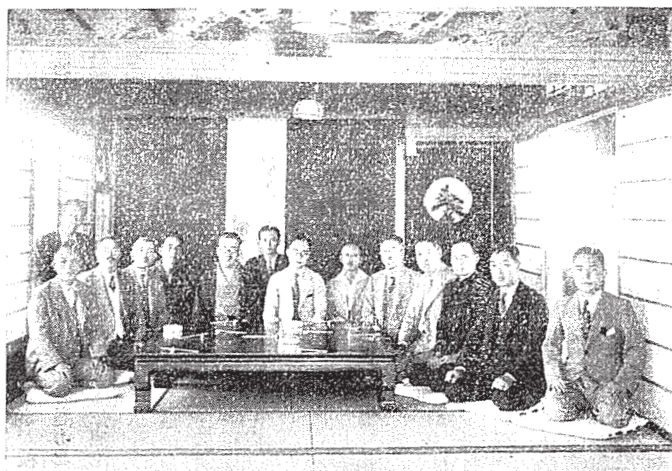
○海軍夏期軍事講習

七月中旬より八月上旬にかけ吳軍港に於て海軍軍事講習が行はれるが學部よりは二十名、豫科よりは十二名参加の豫定。

○學徒至誠會南洋派遣學徒 研究團

聖職下に於ける青年學徒をして内南洋諸島を踏査研究し其重要性を認識し國南の壯志を振起する爲學徒至誠會の南洋派遣は、第一團は七月十日より八月二十一日迄四十三日間、第二團は七月二十九日より八月二十七日迄三十日間の豫定である。

本學よりは第一團に學部法科二年野村正辰君、第二團に學部商科二年の長知武男君が参加する。



富山支部發會式

事務所 富山市新總曲論

大阪毎日新聞社富山支局内

- 支部長 矢野 兼三
 副支部長 磯野 充賀 中島 正文
 幹事長 宮本 五郎
 常任幹事 安田 倫藏 廣岡 忠良
 幹事 福島政次郎 米田 實

大連支部

岡秀麗會第四十九回例會

五月二十日が丁度第四十九回秀麗會の例會日なので會場を何處にもつて行かうかと秀島平井の幹事が又々頭を痛めた末、とうとう星ヶ浦の藤の茶屋に決めた。藤の茶屋と云ふとハテナとこだらうと頭をひねる御仁が大部あるが、それもその筈、この名稱は兩幹事が名づけた親らしく、あの星ヶ浦公園の後藤新平伯の銅像が胸を張つて海の潮風をお腹一杯吸ひ込んで居られる其の眼下にとても立派な藤棚を持つてゐる休み茶屋なのである。その主人が又なか／＼の志士で、遠く孫文の革命當時既に裸ぬいだと云ふ變り種、吾々の今度の集ひには未だ集らざるにも早好條件が澤山揃つたと云ふわけ。

大陸の午後六時は、まだ日なかである。一番乗りは高濱老、いや久々振りで御出席の中島課長だつたかも知れない。この晩は丁度風もなくひた／＼と私語する浦の波とは反對にこちらは青天井（或は花天井かも知れない）で洪笑、爆笑の連続だつた。それもその筈久し振りの方が大勢だつたからである。各種職業人の老若各層の話題は頗る多角形で一晩中話し續けてもきつと種は盡きないだらう。

奉天から又大連に轉勤の守谷さんののがみばしつた顔が加つて又一刻話がはづんだ。金波がだん／＼増えて来た詩人の多いこの集ひ今の一刻で詩藝も随分ふくらんだ。月が昇つたので之をしほに、學歌高唱、解散する事にした。

尙本會基本金寄附者芳名（敬稱略）

- 貳百圓宛 高濱 直一 木村 儀八 室山宇太郎
 五拾圓 小泊 六翁
 貳拾圓宛 秀島 全治 萩原 博 早川源四郎
 平井 三朗

新京支部

大同學院新入學生の歡迎を兼ねて第貳回「國都會」五月例會を廿五日午後六時より大北ビル青葉グレルで開催した。

定刻參集の新人は學院學生四君と、今春卒業の新京特別市公署の下原太郎君、滿鮮拓殖の木村謙君、東邊道開發の合田實夫君に福島公司新京支店の光田健一君の四君で、國都會の例會一週年を迎へた。第貳回例會は稀に見る盛會であり、滿洲國都新京に於ける校友の躍進振りを、實に力強くも頼もしく感じた。

自己挨拶を兼ねて決意の程、感想をつぎ／＼に述べ、時間の過ぎるのを忘れた程だつた、結局一同記念撮影をすることに決し、校友の滿洲映畫現像所喜多君の技手君に御願ひして撮影の後、九時校歌を高唱して參會した。

出席者

- 大同學院新入生 橋本 三郎 山田 通
 河野省三郎 鎌苅 定清
 三原 隆輔 藤田 藤一 今村 茂 古川 一雄
 佐藤 孝智 太郎良松美 三宅 真孝 邑岡 亮
 木村 薰 下原 太郎 合田 實夫 光田 健一
 志岐 五六 佐藤 丈夫
 （以上十八名）

大阪市役所水道部

同窓會總會

六月七日午後六時、中ノ島公會堂地下食堂に於て第

一回總會を開催す。

會する者五十四名、先づ皇居並びに伊勢神宮遙拜、出征將兵英靈に對する感謝の黙禱の後、現存市役所校友會との關係を世話人として小上壽郎君が説明、引續いて會則其の他の提案あり田中健治郎君議長となり議事を進めた所、好意ある議論繰出一部變更して之等を決定す、丁度此時會員中森田恒次郎、中村泰音兩君の大阪市主事に昇進のニュースが入る、期せずして起る拍手と歡聲、これに應へる兩君の笑顔等幸先よい本會總會に一同氣を長くする。

時局柄粗末な食事を共にし乍ら、役所の事、校友の事、母校の事等、つきぬ話に花を咲せ九時過海北支部長の發聲に依り幾多の意味を含んだ萬歳を三唱し、和やかな裡に散會。

當日決定せる役員

支部長 海北 牛平 (集金係長)

副支部長 中村 泰音 (市主事技術課)

幹事 (各課二名) 左の通

(庶務課) 吉田金之助 工藤源次郎

(給水課) 殿村 泰次 田中健治郎

(業務課) 村上 正躬 小山 壽郎

(技術課) 口羽 彰 藤井 元巳

(下水道建設課) 中谷清太郎 竹田 武雄

會計 中辻 淳 百武 通雄

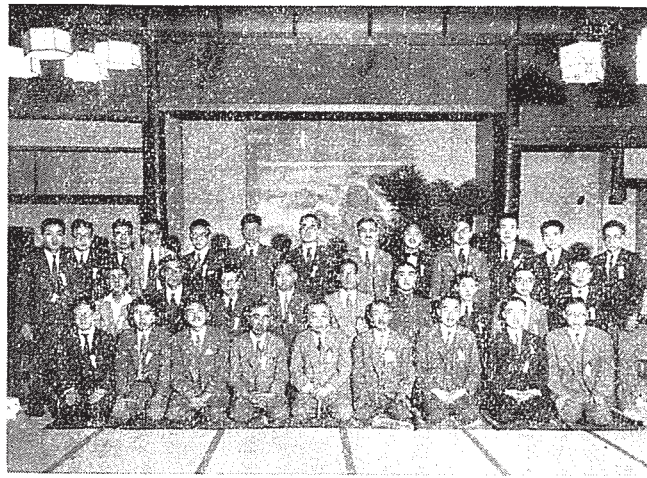
神戸市役所

關大俱樂部

風蕩る六月十三日夕より馴染深き加藤旅館に會する者三十二名。

此度勇退の小西建左衛門會長の惜別、主事に榮進せ

られたる森、安西兩氏の祝賀を兼ねた本會としては極めて有意義な總會である。今岡幹事司會に依り、挨拶皇軍及本會よりの出征者の武運長久を祈る爲黙禱、仁禮副會長の挨拶、小西會長の挨拶に續き、母校代表の原田鹿太郎先生來賓角田先生、五十川先生、岡野先生



小西會長送別會

の挨拶あり、會長、副會長の選擧、事務及會計報告等の後、開宴、來賓中、ノモンハンの勇士深水君(用地課)も加はり、和やかに一夕を送つた、宴酣にして應召者への慰問資金募集動議が出てたちどころに五拾餘圓集つた。記念撮影、應召者への寄書の後九時解散。

尙當日出席者及昭和十五年度役員左の通り。

來賓 原田鹿太郎先生 五十川直市先生

角田好太郎先生 岡野重三郎氏

深水 義春君

會員

小西建左衛門(前灘區長) 仁禮景實(山地課)

友成政夫(經理部印刷所長) 山本寛二(湊東區)

森 且盛(須磨區) 安西 信正(林田區)

今岡 琢磨(主税) 大西 克己(山地)

朝倉 祐二(會計) 井尻 昌一(教育庶務)

皆川 武(社會教育) 松島與喜三

濱崎 潔 安田 正信(以上用度)

山本 鎮郎(用地) 長野 正敬(山地)

出口 清一 田中辰太郎(以上灘區)

平野 浩(葦合區) 多田 隆久(神戸區)

壺井 富治 中村 隆志

改發種雄(以上湊東區) 田中 謙治

住田 彌高 藤原 忠

金 台三(以上林田區) 多賀 恒一(東須磨青年學校)

本年度役員

會長 仁禮 景實

副會長 友成 政夫

幹事 今岡 琢磨

山本 鎮郎

井尻 昌一

多田 隆久

田中 謙治

藤野 剛三

朝倉 祐二

小野 航三

大西 克己

田中辰太郎

平野 浩

中村 隆志

赤尾 保

市千會 (大阪市役所 千早山學士會)

去る六月二十二日過般の人事移動で抜擢を見た水道部勤務の中村泰音君の主事任命を祝賀を兼ねて本年度總會を中之島中央公會堂地下大洋軒食堂で開催した。

當日は非常時大阪市政を双層に荷はれて寧日なき吾等の恩師森下助役の御出席を得て會員一同感激を新にした次第であつた。助役には終始慈眼誠に柔かな態度と市政人として大阪入りをして多年、益々圓熟味を加へられた口調を以て吾等更僚の信條とも云ふべきものを淳々として教示せられ、今更乍ら恩愛の深淵なるに感じ入つたのであつた。

助役退席後幹事の改選を行ひ、今後の活躍を期すると同時に母校の萬歳を高唱して午後八時頃散會した。新幹事は、青野昌平、中辻淳、吉岡賢五郎、長谷川稔、竹谷朝治の五名。

當日の出席者は左の二十五名
 森下 助役 松谷 哲藏 大塚 豊 平本 重雄
 岡田 輝夫 青野 昌平 日下 吾一 西原新太郎
 雨宮 正男 百武 通雄 長尾 正廣 吉岡賢五郎
 長谷川 稔 岡師 幸壽 押嶋 寅雄 龜井 昌三
 高橋倉太郎 山根 賢藏 堀田 政夫 増子 一己
 川合 淳 牧 忠勝 岩橋 美貞 永井 勝志
 藤井 鼎藏

關大五綠會

昭和五年度千里山卒業生より成る關大五綠會は、本年は卒業後既に滿十ヶ年を経過し、皆相當の社會的地位を得つゝあるに鑑み益々親睦を計る可く、七月五日午後六時土佐堀船町「白蘭」料亭に於て開催せり。開會に先ち同窓吉田最一君の戦死に一分間の黙禱を爲し引續いて司會者鈴木の發聲で懐かしい學歌「自然の秀麗人の親和」を合唱、學生時代をしのび宴に入つて話の盡きる所を知らず、午後八時半再會を約し、散會せり。(鈴木武夫報)

當日出席者左の如し

島田 信一 岩田浩太郎 増成 武雄 熊 謙二
 白井 敬夏 中村敬次郎 鈴木 武夫

會員消息

赤井 定雄君(昭六 專一) 鶴岡區裁判所判事より神戸地方裁判所洲本支部判事兼洲本區裁判所判事に轉補、住所は洲本市細工町居屋敷七二一ノ一

荒井政次郎君(大三 專三) 去る四月十九日逝去
 石川 滋夫君(昭十四 專一) 西區江戸堀北通三ノ四七

井邊 勝治君(昭十五 專一) 六月十三日逝去
 鶴飼 慶一君(昭八 大法) 旭區内代町六七に轉居

上原 三郎君(昭十四 專一) 西淀川區高見町三ノ一〇
 岡島 勝君(昭五 大法) 日本メリヤス輸出組合東京出張所勤務、住所は品川區大井坂下町二六八七

谷澤ラック方
 小川喜志雄君(昭十五 專一) 日本ベイント會社大阪支店販賣課に勤務、住所は神戸市灘區船通四ノ三〇

大野 成孝君(昭十三 大法) 上海市閘北光復路六〇七號、蘇浙皖民船總會勤務
 大西 敏雄君(昭十三 專一) 大阪市港灣部を退職、住所は住吉區駒川町六ノ四

奥平 親男君(昭十四 專一) 本月二日加古川第三聯隊入營
 片山 義忠君(大三 專法) 東京に於て辯護士開業中の處今般北京王府井大紗帽胡同九號(電東五九七一)に進出開業された

陰山 常一君(大十 專法) 六月二十三日逝去
 笠島 由孝君(大十四 專三) 日本電力株式會社大阪倉庫主任に轉任

我謝 孟康君(昭五 專三) 來信——現在沖繩製糖株式會社本社總務課に勤務致居候、學友諸君も南島の梯梧花咲くウルマの島の見學せられんことをお奨め申上候、住所は那覇市下泉町二ノ十三

加來 茂彦君(昭六 專三) 大連市清見町十二に轉居
 川口 正夫君(昭十 專一) 久留米野砲兵第二十四聯隊入營

加藤 九榮君(昭十四 專二) 石川縣石川郡鶴來町下東町、松田佐太郎方に轉居
 木下 宏君(昭九 專三) 豊能郡箕面村櫻井半町四〇三ノ四に轉居

紀戸 三郎君(昭十四 專二) 大阪逓信局に勤務中の處去る一月出征〇〇方面に活躍さる
 金 萬 基君(昭十五 專一) 姓名を牧野成道と改む、住所は尼崎市沙町一、松本光吉方

鴻上 弘君(昭十一 專二) 神戸市林田區大丸町一ノ一四七に轉居
 澤田捨次郎君(昭四 大法) 日本電力會社會計課より同社傍系の日本スパルマイト株式會社(旭區放出町三八九)事務課長に轉任

櫻木 一雄君(昭七 專法) 蒙古聯合自治政府巴彥塔拉盟公署より同政府總務部總動員科に轉勤、住所は蒙疆張家口大境門外元寶山興隆巷二二號
 下檜 紹隆君(大二 專法) 鹿兒島縣始良郡山田村邊川に轉居

芝本 幸三君(大十五 大法) 大阪府警察部警務課を退職、辨理士開業

島田 敏夫君(昭二 専法) 東京市王子區志茂町一ノ

一〇九〇に轉居

住田 義雄君(昭七 専商) 南支戦線に於て去る一月

十三日戦病死さる

祖父 江長治君(昭四 大法) 旭區主事に任じ、旭區役

所總動員課總動員係長就任

竹本 寬隆君(昭七 専商) 眞言宗留學生として蒙古

歸化城舍力剛召に赴かる

高階 一三君(昭十三 専法) 大阪逓信局より滿洲國錦

州郵便局に轉勤

竹内 子一君(昭十三 大法) 池田市西市場二八に轉居

勤務は華北鑛業會社大阪營業所

高島贊太郎君(昭十四 専一商) 大阪府農會計課に勤務、

住所は北河内郡菅原村藤坂

富田 金作君(昭十四 大法) 西宮市市庭町九、富田義

雄方に轉居

中埜彌太郎君(昭三 法) 尾道市久保町に於て辯護

士開業中、電話六七〇番、本年度名簿に尼崎市久

保町とあるは誤記

中村新三郎君(大五 専商) 兵庫縣武庫郡精道村戸屋

に轉居

那須 旭君(昭九 専一法) 日本タオル輸出組合在勤

住所は神戸市灘區王子町二ノ三五、佐田方

長瀬 玄亮君(昭十四 大法) 東京市中野區本町通六ノ

八東條方に轉居

畑 孝二郎君(大十三 大商) 住吉區北島東一ノ一四六

二に轉居

橋詰 兼義君(昭十五 専二法) 通信書記補任官、東成郵

便局に勤務、この程四十澤きく江襲と華燭の典を

擧ぐ、新居は東成區猪飼野大道一ノ二三、金尾方

久田一 榮君(大十三 専法)

野村生命保險會社京城支

店長より同社松江支社長に轉勤さる

兵頭 勇君(昭十四 専一商) 東京市淀橋區戸塚町一ノ

三四四、高風園に轉居

古谷 正慶君(昭四 専商) 北京城內方區南池子大街

二九、大林組北京支店に轉勤

藤原 寛一君(昭九 専二商) 住吉區阿部野筋一ノ九六

南山莊に轉居

堀畑 眞一君(昭三 専商) 堀富商工株式會社並に堀

富化學工業株式會社各專務取締役たりし處、去る

六月廿六日逝去さる、葬儀は同二十八日堺市安養

寺にて會社葬を以て執行せられた、遺族、住吉區

北島東二丁二一、妻利子氏

俣賀 哲夫君(昭八 専一商) 成瀬と改姓、宇部靈業工

業會社在勤、住所は宇部市鶴之島

松田 久雄君(昭十三 大法) 大連市早苗八一ノ二、法

院官舎三五號に轉居

増池 乾和君(昭十四 専二商) 大鐵百貨店勤務、住所は

西成區東皿池町二五

松本 準三君(昭十五 専二法) 大阪鐵道局を辭し、大阪

鐵工所櫻島工場倉庫課に勤務

宮下 操君(昭六 専商) 住吉區阪南町中一ノ三八

に轉居

三宅 豊二君(昭十 専一商) 牡丹江省濱綏線横道河子

近藤林業公司に轉勤

三宅 美孝君(昭十三 大法) 眞孝と改名、興農合作社

中央會に勤務

宮本 敏雄君(昭十三 大法) 西宮市津田町五六一に轉居

水谷 清示君(昭十四 専二法) 滿洲國密山縣〇部隊入隊

宮下 忠吉君(昭十五 専英) 九州帝大法文學部在學

村岡 慶喜君(昭三 専經) 西稅務署勤務、中河内郡

龍華町植松一六〇四(電八尾五七七)に轉居

山本 豊君(大十一 専法) 兵庫縣鐵鋼製品工業組合

聯合會吳駐在、宛名は吳市今西通五ノ平富永ちゑ方

安西 正義君(大十四 専法) 壹本憲治と改姓名、大阪

稅務監督局在勤、住所は布施市荒川一丁目八六

山田清太郎君(昭四 大法) 警部補に任じ、大阪府警

察部勞務課兼工場課に轉勤

山下 益美君(昭十 専二商) 豊能郡小倉根村長島一二

五〇に移轉

安田 益男君(昭十四 専二商) 北河内郡守口町平代町一

八九ノ一に轉居

山中 木太君(昭十四 専二法) 海拉爾都市金融合作社よ

り興農合作社理事に轉勤、渡滿以來一年有餘

ホロンバイルには九ヶ月を過しましたが此の度興

農大滿洲の新機構興農合作社に轉勤を命ぜられ、

去る五月廿日熱河の沙漠を無事横斷し西省の古都

に與入れして、直ぐ様仕事と取組んでゐます」と

來信、宛名は滿洲國興安西省林西縣城內、林西興

農合作社

山本富久治君(昭十五 専二法) 新京特別市清和胡同七〇

三號青雲莊に轉居

吉本 節君(昭十五 専一商) 滿洲大倉土木株式會社鞍

山營業所(鞍山市北一條町四六一)に轉勤

渡邊 信男君(昭三 九 専法) 小倉市に於て辯護士開業

中の處去月逝去さる、遺族は小倉市古船場町五丁

目(男) 渡邊信仁氏

關西學生新聞聯盟

(千里山新聞部)

時下國民精神總動員高らかに提唱され文化の意義又重要性を加へつゝある折柄文化運動に携はり新聞の動向は注目すべきだらう。

昭和十二年文化高揚遂行目的を於て、關西學生ジャーナリズム界に呱呱の聲を擧げた關西學生新聞聯盟は、其の後提唱校關學に次いで本學千里山、專一、專二龍谷、日大專、高野山が加盟し充實の一歩をたどつてゐるが、本年度第二回の例會を當番校關西大學新聞(千里山)主催の下に、六月二十七日午後六時より天五「光」にて開催、先づ會議は聯盟規約十一條により當番校千里山新聞部安田義哲君(學三)が議長となり、開會を宣し聯盟規約三、四、五條の事業、委員、當番校の問題に就いて協議、次いで新聞に就いての研究發表を行つた。尙聯盟委員決定の分左の如し。

聯盟委員

關西新聞

- 八木與四郎(學三)
- 駒井 弘三(學二)
- 伊東 秀英(學三)
- 森田 實(學二)
- 龍大新聞

關大新聞

- 安田 義哲(學三)
- 南 正人(學一)

百號記念を目前に達へ、活躍してゐる千里山新聞部は今春部より村上芳治君を送り出し、幹部陣容を變更した。

部長

- 賀來 俊一教授

名譽顧問

- 岩崎教授以下六名

顧問

- 安田 義哲(學三)
- 南 正人(學一)
- 山中 徳雄(學二)
- 東 正澄(學一)

副總務

- 學聯委員(應召中)大川龍雄(學二)

尙一層の飛躍に備ふる爲安田、東、千原の三君は去る十日東上、早慶明治並に中央の五大學を訪問、東西文化交流に付き座談會を行ひ、十五日歸阪した。

法理研究會(專門部第二部)

一、學生の要望で結成された法理研究會は毅然たる新陣容を整備し法律理論の研究、刑事事件の討議、判例の研究、等々、各種事業の完遂を期し、且又「法理研究」なる機關紙を發行し(既刊第一號、第二號)會員研究發表の機を興へ、法科全學徒の縦の連關に於る融合

を圖り、既に左記研究會を開催し多大の成果を收めたり

刑罰の目的(植田助教指導)

一、意思表示の到達に關する判例研究

一、契約の成立と效力發生時期に關する祝前君の研究發表

一、シカネー禁止の問題に關する加藤君の研究發表

一、川上教授「私の見て來た支那」と貴講師「三民主義について」の講演

一、妻の無能力と追認との判例研究

尙夏期事業として奈良公園で林間討論會を開催する豫定である。

語學部(專門部第一部)

昭和十五年度語學部は原部長以下一糸亂れぬ統制の下に一致協力益々躍進に躍進を重ねてゐる、而して毎週火曜日には水谷教授の御指導を仰ぎスピーキングを月曜日は片岡教授御指導の下に譯讀を行ひつゝあり、部員三十名のハリキリ方正に意氣天を突くの感あり。

六月中に於ける事業次の如し。
毎週、月曜日、火曜日、土曜日、部室にての研究を行ふ。
六月一日 昭和高商對校スピーチコンテストを開催
六月八日 神戸高商主催全國高專大學英語辯論大會へ商三森口秀雄君出場

六月十四、五日 同志社大學主催大學高專英語辯論大會へ高商三原正己君出場
六月二十五日 關西大學主催全國英語辯論大會に商二栗林日出雄君出場
六月二十八日 米人ミセス・タチバナの特別招待英會話の御教授を受く

千里山二商會

卒業生五十八名、在學生五十名を有する吾が關西大學千里山二商會は、六月九日午後七時、北區梅ヶ枝町宇治電ビル地下食堂に於て、昭和十五年度例會を開催した。

當日は森川會長を始め、中村、八島、安川諸教授の御出席を得て、集ふる者は卒業生五名、在學生二十三名の多きに達した。
先づ、關西大學學歐齊唱の後、下井君(法三)開會の辭を述べ、次いで會長以下諸先生の挨拶に一同は二商時代の若き心に立返る。會員の自己紹介より早くも種々のユーモアが飛出す。又藤永(法一)、阿部(二)二君の逍遙歌、吉岡君(商一)の詩吟等、色々の餘興も積出する。

斯くて恩師を圍み二商時代の追想談に花を咲かせて、愉快に初夏の宵を過ごし午後九時思ひ出もなつかしき第二商業學校校歌を聲高らかに齊唱し、森川會長發聲にて會の萬歳三唱して散會した。

射撃部 (千里山)

第十三回大阪外語定期戦 外語乗機に依り本學十三連勝。

× 十六日(日)

× 學 聯 關 西 支 部 大 會 に

優勝

本年度春季スケジュール中最大の行事大阪城南射撃場に於ける學生射撃聯盟關西支部大會に出場参加校二十二校、夜來雨足強く射場内案外に暗し、然し乍ら本學選手能く平素の技を遺憾なく發揮し關西の雄を堂々下し昨春來再度優勝し、春季關西の覇權傑として我が頭上に輝く因に當日の成績左の如し。

優勝 本學 二六〇點

本學メンバー左の如し

宮崎、泰永、野田、西村、妹尾、養父、星野、寺内、三宅、片岡、

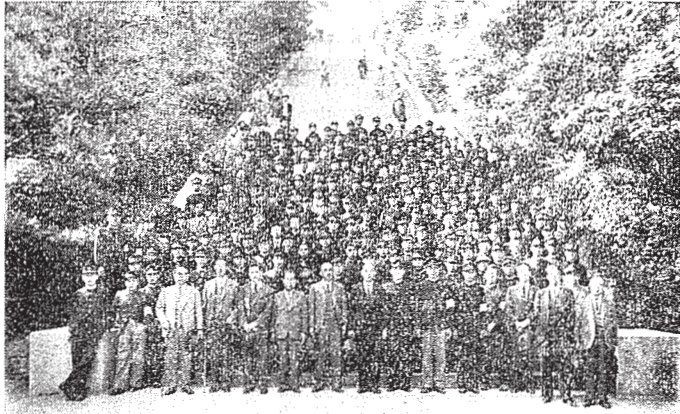
補 矢野、古林

西村(經二) 三四點 個人第九等入賞

六月十七日(月) 於大阪城南射場

第十五回關西三大學射撃聯盟定期戦

當日亦もや前日より以上の豪雨にして標的上の示點竿すら識別し難き程隧道内暗きも本學支部大會制覇の意氣を驅つて三年越しに優勝す。



てに陵御山桃一行旅學修季春部二第部門專

尙昭和十四年年度中全日本射撃協會、ランキンング本學關係左の如し。

團體 之部

三〇〇米十名五發競技

第二傑 本學 三三三點

學聯關西支部大會(大會新記録)

個人 之部

國際式三〇〇米三發勢綜合競技

第六傑 片岡 想 一五二點

三〇〇米五發競技 神宮大會

第八傑 養父 一郎 四三點

學聯關西支部大會春季

射撃部 (専門部第一部)

第十七回春季對立命定期戦 於城南射場、全日本に其の名を馳せる立命館大學を城南射場に迎へ一戦を交ふ、我校克く善闘し一四點の差にて快勝。

第一回戦

關專 二五五點 VS 立命 二七五點

第二回戦

關專 二六九點 VS 立命 二三五點

總計

關專 五二六點 VS 立命 五一二點

此處に於て昨年度八勝八敗なるも一勝關專勝越となる。

吾等が今春の最大目標たる全日本射撃聯盟關西支部大會は参加校二十三校のも

とに六月十六日開催さる當日折柄の悪天候に各校共苦戦せる中に吾校克く頑張りたるも一四點の差を以て優勝を逸し第二位入賞。

猶正木君個人賞第十位に入賞、其の上名譽的をも獲得せり。

- 1 關 西 大 學 二六〇點
- 2 甲 南 高 校 二五六點
- 3 關 西 大 學 專 門 部 二四六點
- 4 同 志 社 高 商 二四〇點
- 5 關 西 學 院 二三九點

山岳部 (専門部第一部)

第一班

待望の本格的シーズン漸く到來し意氣愈々軒昂なる我等は、其激烈たる第一歩を道場ベースキャンプより發足した。

六月七日先發隊の後を追つて零時二十分大阪驛出發、道場着一時四十分。驛前にて先着部員の出迎へを受けつゝ行く事約四十分、清流の邊りに嚴然と屹立する二百尺の大岩石、百丈岩附近に至り早速第二テントを張る。夜に入るや若干降雨を見るも幸ひ程なく収まり、安堵して第一夜の夢を結ぶ。翌八日拭ふが如き快晴下に、今ぞ我等の目指す百丈岩征服を決行。幹部互に慎重を期して善く一年生部員を指導、遂に日頃の練習に基く底力を發揮し、全員無事登攀完了……時に十一時十分。下山、糞食後更に四料を隔てる千疋水源池見學に趣き、種々新知識を得て歸來。夕飯後は一同キヤムプファイヤ

一を圍んで盡きぬ名残を惜み、最後に學歌を高らかに齊唱して就寝。六月九日一時三十分、貴重な體驗を重ねた道場に訣別、元氣旺盛裡に二時五十分歸阪す。

(參加部員) 井手、村上、小山、川端、松田、田中、宇都宮、森本、村上、京村、……

第二班 大峰山縦走

六月七八九の三日間に亘り、大和の靈峰大峰山縦走を舉行せり。七日午前八時十五分大鐵阿部野橋を出發。吉野下市口着九時四十分。驛前には洞川行の自動車を待つ山上詣りの人達で蜿蜒長蛇の列をなして居り、事約三時間待機、漸くにして車上の人となる。(紙面の都合にて以下略)

フエンシング部

五月十九日 對同大定期戦
初の定期戦に
本學の力闘空し



浪速と京洛の決戦の觀ある關大對同大の定期戦は漸く本年度より結ばれ、リーグ戦に先立つて大阪V、Mで花々しく開催された。我部は第一戦のフルーレ戦に入尾、山口、溝淵、谷本を送り善戦して八對八突數の差三本にて先勝すれば同大

もさるもの第二戦のエツベ戦に關大入尾谷本を破り、爰に一對一の同點となり場内騒然となる。勝敗の鍵は第三戦のサーベル戦に懸つて来た。頼みとするサーベル戦は好漢溝淵軽く演目を斥けしも、關大山口力戦空しく中谷に敗れ、サーベルは一對一突數の差三本にて敗退、こゝに本學二種目を失つて同大の軍門に下つたのであつた。然し善戦して海なき此一戦——されど敗軍の將、兵を語らず、雪辱の誓ひを胸に秘めて退場した。

馬術部豫科軍

皇紀二千六百年の意義ある年に、日本學生馬術界に於ける最古且つ光輝ある歴史を持つ吾が關西大學千里山學友會馬術部豫科部員一同は、此の度先輩諸兄の熱心なる御援助御指導により、關西大學千里山學友會馬術部豫科軍を編成することとなり、豫科部員の意氣益々軒昂なるを示せり。

六月十日より豫科部員全員は關田馬術講習所に於て猛練習を開始せり。諸兄の熱烈なる御聲援を乞ふ。

- 豫科役員及び部員左の通り
- | | | | |
|------|-----|----|----|
| 主將 | 宮崎 | 部員 | 吉村 |
| 副將 | 柿原 | 藤尾 | 村 |
| マネー | 佐々木 | 居成 | |
| ジャヤー | " | 赤松 | |
| サブ | " | 植野 | |
| マネー | 廣瀬 | | |
| ジャヤー | " | | |

第十回 文藝祭

未曾有の盛會裡に了る

關西大學學友會文藝部主催第十回文藝祭は梅雨降る六月十六日(日曜日)午後四時より、偕行社前大阪軍人會館に於いて舉行された。回を重ねてこゝに第十年目を迎へ、文藝部は意氣軒昂と純學生文藝道の研鑽に注力、不斷の猛練習によつてその成果は遺憾なく表現された。

午後三時半開場といふ從來に無かつた開會を斷行したが、觀覽者はまた、く間に場を埋め、遂に満員メ切の弊に出でざるを得なかつた。

午後四時プログラム第一の齊唱『關西大學學歌、學生歌』を以つて幕を落し、次いで多忙なる時間を割いて遠路來場された學長、會長神戸正雄先生の約三十分餘にわたる文藝の現下時局に迫るべき方向と、其の必要性に就いて講演あり、觀覽者にいたく感銘を與へた。

演劇部は菊池寛氏作「屋上の狂人」を上演し大好評を博すれば、音楽部はハモニカ合奏、輕音樂、ハワイ音樂の輕快なメロデーに場内を魅了した。新設の文學部は朗吟「紀元二千六百年奉祝詩歌集」を以つて見え、最後に映畫研究部推薦に

かゝる文化映畫「夜の猛禽」佛シネアリス製作「我らの仲間」を上映し、午後十時半多彩なる第十回文藝祭は未曾有の盛會裡に終了した。

記念すべき第十回文藝祭を執行した小林文藝部長は次の如く語る。

近年や、振はずと批評された文藝祭を何とかして立て直すべく努力した。そのためには、從來の行き方に大きな改變を行はざるを得なかつたので、一部の非難をも受けたが、文藝祭向後のためには必要なる改變だと私は信ずる。關西大學文藝はあくまでも健全な純學生文藝でなければならぬ。第十回文藝祭は幸ひ諸賢の御後援によりその半ばを實現出來たことは感謝の極みである。なほ今後には幾多の改革すべき點もあるが早急の實現も困難なので、更に不斷の精進を傾注して健全なる純學生文藝道の實現に盡力したい。本學に無くてはならぬ文藝祭とはそれが實現した時のものを言ふのであらう。なほ學長神戸正雄先生が遠路わざわざ御來場、特に文藝の必要性を説いて下さつたことは文藝部にとつて無上の光榮であつた。文藝祭は遠からず學校當局が擧げて激勵して下さる程に堅實味を持たしめることが出來ると確信するものである。

關西大學教授 磯部喜一著

好評

中小商工業の組合運動

四六判二一七頁 定價一・〇〇 送料一・〇〇

戰時經濟が各種の組合制度をして我國經濟機構の樞軸たらしめたことは明かである。吾々は組合運動の本質を知らずして、今日の經濟を談じ得ない。本書は工業、貿易及商業の三種組合を中心に、各種組合制度の過去現在未來を達觀して洩すところがない。組合論研究の權威者たる教授の勞作は必ず予讀者をして今後わが國經濟に處する心構を形成し得よう。

神戸商大助教授 新庄 博著

好評

増補 金融理論の新傾向

四六判二三六頁 定價一・二〇 送料一・〇〇

本書は斯學に於ける最近の發展を描出することを目的とするとともに又それらの學說の解説書としても役立つ様に諸家の見解をなるべく克明に且つなるべく平明に叙述するに努めた。しかし既に從來の金融理論を一應會得した人々に對してよりよく役立つのではないかと思ふ。(序文の一節より) 今回初版發行後に現れた數種の問題を紹介増補した。一讀を敢て薦む。

關西大學教授 岩崎卯一著

日本憲法の社會學的理解

菊判五〇頁 定價・三五 送料・〇六

著者の企圖せる法律社會學特殊研究の一にして、日本憲法を理論社會學の新見地より論究し、この方面に新境地を開拓せる研究論文である。日本憲法の社會的研究に對する根本資料を憲法の古文・物語・前文並に第一條及び第四條に求め、これを社會學上の共同社會關係及び利益社會關係の理念型觀念に依り闡明せるものである。

大阪商大助教授 五島 茂著

増訂

學術論文の書方

四六判上製二八二頁 定價 二・〇〇

學術論文の書方にはコツがある。殊に經濟・法律・その他社會科學關係のものはそのだ。誰でもその難しさを痛感し、そのコツを知りたがつてゐる。が、教授も先輩もあえて自分の工房の秘密を洩すことをしない。本書はそのコツを具體的な事例を用ひて懇切に解明してある。眞理を探求する學生諸君の座右に是非備へられんことをお薦めする。